



祝 ナショナルコレクション登録！ 江戸椿が咲き始めます！

2022年3月28日に森林公園の保有するツバキのうち、146品種が「日本植物園協会ナショナルコレクション」に認定されました。「江戸椿(えどつばき)」と呼ばれる、豪華な花卉や洗練された美しさを持つ『江戸の粹』を集めたような多彩なツバキが4月中旬頃まで順次開花します。関東有数の自慢のツバキコレクションをぜひご紹介ください♪



菊冬至(Kiku-tōzi)
11月～3月



白唐子(Shiro-karako)
11月～3月



数寄屋(Sukiya)
12月～3月



ト判(Bokuhan)
3～4月



紫椿(Murasaki-tsubaki)
4月

森林公園のツバキについて

- 【品種数】保有数 約500品種
うちナショナルコレクション認定 146品種
(江戸椿128品種 その他の品種18品種)
- 【場所】椿園(南口から徒歩約15分)
都市緑化植物園第二苗圃(中央口から徒歩約20分) ※11月中旬～4月中旬ごろまで特別公開
- 【時期】11月下旬～4月中旬ごろまで順次開花
*品種により開花時期が異なります

江戸椿(えどつばき)とは？

江戸時代に二代将軍徳川秀忠が全国から椿を収集し、江戸城に植えたのをきっかけに、諸大名らの間で椿が大流行しました。こうして全国各地から集められた椿を基に、主に染井村で生まれた豪華な重弁の花や洗練された美しさを持つ多彩な品種を総称して「江戸椿」と呼びます。

当公園では江戸椿 約200品種
(現存する品種 約160品種)のうち
128品種(約8割)を保有しています。



江戸椿の目録「椿花集」

日本植物園協会ナショナルコレクションとは？

「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的に制定された制度です。審査に合格し、登録されたコレクションは植物遺産『日本植物園協会ナショナルコレクション』として情報公開や安定した保全を推進します。2022年11月現在、森林公園の『江戸椿を中心とする国営武蔵丘陵森林公園のツバキコレクション』をはじめ、日本全国で14件のコレクションが登録されています。



National
Collection

- 【新型コロナウイルス感染拡大防止対策につきまして】
- ・お客様には手洗いやうがいの励行、咳エチケット、密接回避などの対策をお願いしております。
- ・利用を中止している施設などがございます。
- ご取材の際は、上記につきましても報道いただけますようよろしくお願いいたします。

記者お問い合わせ先

一利用・イベントに関すること一
国営武蔵丘陵森林公園 管理センター
広報(担当:高田、近藤、関原)

TEL:0493-57-2111

一公園管理に関すること一
国土交通省 関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所
国営武蔵丘陵森林公園出張所(担当:代島)

TEL:0493-57-2115

一般お問い合わせ

国営武蔵丘陵森林公園 管理センター
(埼玉県比企郡滑川町山田1920)
[公園HP]<https://www.shinrinkoen.jp>

TEL:0493-57-2111

